



10月12日(日)に、魚津市の新川文化ホールにて「防災講演会 in 魚津市」が開催されました。

近年、国内外で豪雨や地震、火山噴火など、想定外の規模の自然災害が多発しています。これらの災害は社会や人々の生活に深刻な影響を及ぼしており、その被害は甚大です。このため、「いつ、どこで起きるかわからない災害」に備える必要があります。こうした自然災害への備えがますます重要になる中、富山県でも県民の防災意識を高める必要があると考え、この防災講演会を開催しています。本講演会は県内の各市町村で実施しており、平成27年に立山町で第1回を行い、今回の魚津市で第10回目となります。

令和7年10月12日(日) 13:30～16:00

新川文化ホール 小ホール 参加数:約180人

■プログラム

開会挨拶 実行委員長 山崎 列子
(立山砂防女性サロンの会 会長)

挨拶 魚津市長 村椿 晃

基調講演 「土砂災害を知る・備える・行動する」

講師 一般社団法人 全国治水砂防協会 副会長 岡本 正男 氏

報告(1)「能登半島地震の災害支援活動」

講師 かみいち総合病院 主任看護師(災害支援ナース) 佐伯 優 氏

報告(2)「これからの地域防災について」

講師 NPO法人 富山県防災士会 理事長 吉澤 実 氏

報告(3)「魚津市からの報告」

講師 魚津市総務部総務課防災危機管理室 係長 魚住 和広 氏



開 会 挨 拶



実行委員長挨拶



魚津市長挨拶

報 告



能登半島地震の災害支援活動



これからの地域防災について



魚津市からの報告

基 調 講 演



1. 土砂災害の特性
2. 近年の土砂災害発生状況と特徴
3. 災害から学ぼう
4. ハード対策
5. 行政の知らせる努力・住民の知る努力
6. 災害を伝えよう
7. 皆様に届くこと
8. 山女日記

「土砂災害を知る・備える・行動する」



主 催 : 砂防防災講演会実行委員会
共 催 : 魚津市
後 援 : 国土交通省北陸地方整備局 立山砂防事務所
国土交通省北陸地方整備局 黒部河川事務所
富山県土木部 砂防課
協 賛 : 富山県治水砂防協会
富山県建設業協会 魚津支部
(一社)富山県測量設計業協会
富山県立山カルデラ砂防博物館

＜実行委員会の構成団体＞

(一社)斜面防災対策技術協会 富山支部
NPO法人 富山県防災士会
(一社)北陸地域づくり協会 富山支部
立山山麓防災・安全対策協議会
NPO法人 富山県砂防ボランティア協会
立山・神通砂防ボランティア協会(TJSV)
立山砂防女性サロンの会